

平成30年度 国民体育大会 村山地区・最北地区高等学校 陸上競技予選会  
競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2018 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。また、日本陸連競技規則によるもののほか、次による。

(1) ハードルの高さ・ハードル間の距離

区分	少年男子共通 110mJH	少年女子 A 100mH	少年女子 B 100mYH
高さ/距離	0.991m/9.14m	0.838m/8.50m	0.762m/8.50m

(2) 投てき種目の区分・重量

	男 子			女 子		
	少年 A	少年 B	共通	少年 A	少年 B	共通
砲 丸	---	5.0kg	---	---	---	4.0kg
円 盤	---	---	1.750kg	---	---	1.0kg
ハンマー	6.0kg	---	---	---	---	---
や り	0.800kg	---	---	---	---	0.600kg

## 2 招集について

- (1) 招集所は、北器具庫の南側（100mのスタート地点の西側）に設ける。  
 (2) 招集開始時刻、招集完了時刻、現地集合時刻は、その競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとして処理する。

	招集開始時刻	招集完了時刻	現地集合時刻
トラック競技	30分前	20分前	10分前
跳躍競技	60分前	50分前	40分前
投てき競技	60分前	50分前	40分前

- (3) 招集所で点呼を受けた競技者は、(2)の現地集合時刻までに各種目のスタート地点やピット（現地）に各自で移動し、競技役員の点呼を受け、指示に従うこと。  
 (4) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所の競技者係に提出すること（用紙は招集所に準備）。  
 (5) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに、「2種目同時出場届」を招集所の競技者係に提出すること（用紙は招集所に準備）。

## 3 ウォームアップ場（練習会場）について

(1) 風除室について

ストレッチとダッシュのみの使用を認める。風除室の壁側をストレッチスペース、

走幅跳ピット側をダッシュスペースとする。ダッシュスペースでの私物を用いた練習は禁止する。

ジョッグやドリル等は競技場周辺で安全に配慮して行うこと。

スターティングブロックは主催者が準備する。

(2) ハードル種目のウォームアップ（競技の前の練習用ハードルの設置）について

- ① 110mハードル・100mハードルの練習用ハードルを、風除室に置く。
- ② 400m練習用ハードルを、周回種目を実施していない時に、第1曲走路からバックストレートに置く（7レーン：女子用、8レーン：男子用）。

(3) フィールド競技（跳躍・投てき）のウォームアップについて

- ① 跳躍競技・投てき競技のウォームアップ場は設けない。招集完了・現地集合の後、競技場所で競技役員の指示により行うこと。
- ② 事故防止のため、フィールド内芝地でのウォーミングアップは禁止する。

4 競技者が本大会で使用する器具は、棒高跳のポールを除いては、主催者の用意した物を使用すること。

5 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	
男子共通走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以後 3cm
※ 女子 走高跳	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以後 3cm
男子 A 棒高跳	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後 10cm
※ 女子 棒高跳	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	以後 10cm

※成年女子走高跳・成年女子棒高跳には、少年女子Aからもエントリーできるので、本大会で実施する。（少年Aのみエントリー可。）

なお、開始の高さに変更することがある。

6 男子の三段跳びの踏切板の位置は、全て10mと12mとする。女子三段跳の踏切板の位置は、全て9mとする。

7 長さを競う跳躍競技及び投てき競技は、すべて4回試技とする。

8 その他

競技中の事故について、主催者は応急処置を行うが、以後については各自の責任で対応すること。